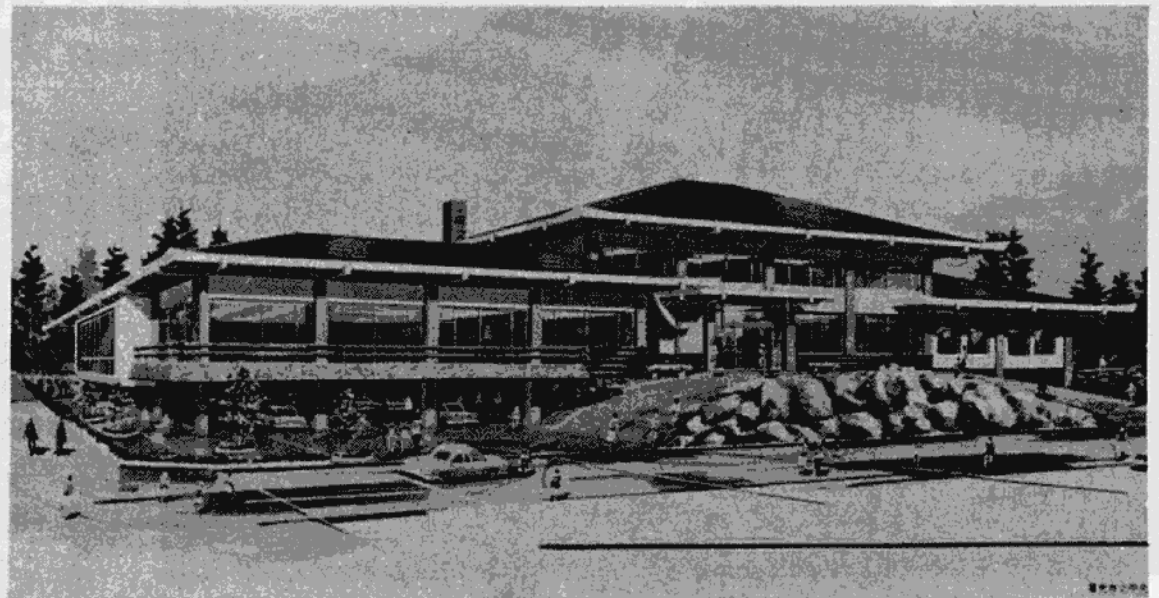


# 待望の 中央公民館

## 6月3日に竣工式・開館



市民待望の市立図書館・中央公民館の竣工式が、六月三日に行われることになりました。

中央公民館は、同日開館され、利用できるようになります。また、今までの清滝・小来川公民館は、中央公民館の分館になります。

市立図書館は、図書整理期間が必要ですので、八月初旬に開館される予定です。

中央公民館の開館を祝って、六月三日から五日まで「中央公民館開館記念展示会」(小文化祭)が開かれます。どうぞ来館ください。

い。

中央公民館の完成により、これまで市役所三階にあった「教育課」が、五月上旬に中央公民館内へ移転します。

新住所と電話番号は、次のとおりです。

日光市御幸町五〇八番地  
☎③三七〇〇・③三七〇一・③三七〇二

開館になる、中央公民館・市立図書館の内容と公民館条例による新料金については、次号で紹介いたします。

### 入込七百五十一万人 五十二年観光統計

市観光課では、毎年日光への観光客の入込と宿泊状況を、統計にまとめていますが、このほど昭和五十一年の結果がわかりました。それによると、日光に来た観光客の総数は、七百五十一万人で、五十年の七百九十二万五千人より、四十一万四千九百人減っています。これを率で比較すると五%の減になります。この主な原因は、石油危機以来の景気回復が遅れていることに併せて、梅雨が長かったことや、寒波が早くきたことなどの気象条件が悪かったことです。また、入込客が減っているのは、全国的な現象です。

入込を経路別に見ると、国鉄が約六十七万人で八・九%、東武が約百万人で一三・三%、定期バスの入込が約五十九万人で七・九%、外来車が五百二十五万人で六九・九%になります。

月別比では、十月の一六・二%、八月一二・九%、五月十二・二%、七月九・八%となっています。これを四季別にまとめると、秋が三%、夏が三一・五%、春が二四・七%、冬が一〇・七%で、順位は五十年と同じです。

います。これを地域別に見ると、湯元が約四十七万四千人で三九・一%、日光市街が約四十三万五千人で三五・八%、中禅寺が約二十一万九千人で一八・一%、菖蒲と丸山地区が七万三千人で六%、光徳が一萬一千人で一%になります。

### 印紙税の税額が 変わりました

五月一日から、印紙税の税額が変わりました。主な改正点は、  
▼今までの五十円がすべて百円に  
▼継続的取引の基本となる契約書、判取帳など一律の税率で課税されたものは、それぞれ二倍に、など  
となっております。詳細は、市税務課か税務署にお尋ねください。

### 人事

●日光市役所 4月1日付  
▼兼図書館長兼中央公民館長(教育長) 谷田貝憲介  
▼総務課付主幹(総合会館長) 小林吉次郎  
▼総合会館長(清滝保育所長) 今井任一  
▼兼図書館副館長兼中央公民館副館長(教育課長) 神山宏  
▼市民課長補佐兼記録係長(農林商工課長補佐兼農務係長) 星野佐一  
▼清滝

保育所長(税務課長補佐兼諸係長) 牧野昭次郎  
▼総務課長補佐兼庶務人事係長(同課庶務人事係長) 笹川司郎  
▼税務課長補佐兼市民係長(同課市民係長) 豊田実  
▼保健衛生課長補佐兼国民健康保険係長(同課国民健康保険係長) 渡辺正元  
▼保健衛生課長補佐兼保健防疫係長(同課保健防疫係長) 小平俊朗  
▼市民課長補佐兼年金係長(同課年金係長) 神山中  
▼企画課統計係長(観光課施設係長) 高木英男  
▼税務課諸係長(清掃事業所副主幹) 福田恒男  
▼農林商工課農務係長(市民課記録係長) 斎藤豊  
▼観光課施設係長(市民課市民係長) 池川進  
▼体育課体育係長(企画課統計係長) 松本信夫  
▼兼図書館副主幹(教育課学校教育係長) 星圭二  
▼兼中央公民館副主幹(教育課社会教育係長) 佐藤隆司  
▼兼図書館副主幹(教育課庶務係長) 吉新蕃  
▼兼公民館清滝分館長(清滝出張所長) 鈴木吉親  
▼兼公民館清滝分館副主幹(清滝出張所市民係長) 河内広  
▼兼公民館小来川分館長(小来川支所市民係長) 佐藤庄吉  
▼兼公民館小来川分館副主幹(小来川支所市民係長) 村上祐一  
▼清掃事業所副主幹(体育課体育係長) 星良士  
▼市民課市民係長(同課市民係主査) 松本幸三  
▼中宮祠出張所市民係長(企画課企画調整係主査) 大久保勝  
▼日光地区公設地方卸売市場(中宮祠出張所市民係長) 柴田憲助